

小学生高学年の部



水の偉大さ

石巻市立湊小学校 6年 江良 さくら

「あー美味しい。」毎朝リビングから聞こえてくる声で目覚めます。水を美味しそうに飲んでいるのは、おじいさんです。つられるように私も、コップ一杯の水を飲みます。洗面所からは、洗濯をしている音が聞こえます。庭からは、ホースで花に水をあげている音と飼い犬のアトムがリズムよく水を飲む音が響いてきます。目覚めたばかりの時は、まだまだねむいのに、一杯の水を飲んだだけでシャキッとします。水の力は、偉大です。

テレビを見ていたら、面白い実験をしていました。商店街で買い物帰りの人に水道水とミネラルウォーターの飲み比べをしてもらっていました。始めは全員、ミネラルウォーターが美味しいと言います。でも、目隠しをされてもう一度飲むと、みんな首をかしげたり、何度も飲み比べたりして答えがなかなかでてきません。私は、おかしくて笑いが止まりませんでした。結果は、半々くらいでしたが日本人は水道水はミネラルウォーターよりおとっていると、勝手に思いこんでいるような気がしました。

世界では、31億人が安全な水を自宅で入手できないそうです。世界人口の約10人に3人です。水不足は、他国の問題で日本には関係がないと思っている人が多いと思います。でも、私たち1人1人が1度考え直し、水を無駄にしない工夫をしながら大切に使うようにしなければいけないと思います。

私の家では、お風呂の残り湯は捨てずに洗濯に使います。歯みがきをする時に、水を出しっぱなしには絶対しません。もし出しっぱなしにすると、1分間で約12リットルもの水が流れるそうです。美味しい水を飲み続けるには、水の再利用も大事な事です。

毎朝元気に水を飲んでいたおじいさんは、去年亡くなりました。亡くなる前日も、「水が飲みたい。」と言って、ゴクゴクと美味しそうに飲んでいました。亡くなってすぐに、「死水を取る」という儀式を教えてくださいました。綿棒に水を含ませて、おじいさんの唇をうるおします。由来は、天国では飲食ができなくなると考えられているので、死者が乾きに苦しまないようにと口に水を含ませるそうです。大好きなおじいさんが大好きだった水を、私は泣きながらずっと唇に含ませ続けました。やっぱり水の力は、偉大です。おじいさんが亡くなってから4か月後、アトムが亡くなりました。小さなひつぎに入れてもらい、ジャーキーと水も一緒に入れました。毎朝リズムよく飲んでいた音を聞く事は、もうありません

私の朝の仕事が1つできました。仏だんに、水を供えることです。(ご先祖様、おじいさん、アトム、美味しい水を飲んで、今日も1日楽しんでください。)心の中で唱えながら、手を合わせます。

水は、生きている人にも、亡くなった人にも必要です。100年たっても、今と変わらず美味しい水がずっと飲めますように。